

土地の所在

高松市檀紙町字半田1773、1775-1、1775-2、1781

土地利用計画図

埋蔵文化財包蔵地外

開発許可
年月日

第 平成
年 年
月 月
日 日
号 号

申請者

株式会社ロータリーハウス・ルート
代表取締役増元彦彦

作成者
住所・氏名

高松市円座町1580番地10
土地家屋調査士 岡野上竜二
二級建築士



注) マンホールとVU管の接続はマンホール可とう継手を使用すること。
VU(R)とはリブ付環状強化ビニル管を意味する。
本管への接続は支管接続とする。
管内排水の土被りは20cm以上とする。
管交差部分は10cm以上のクリアランスを確保すること。
開発協議は最終樹から一次放流先までである。
街路樹の放流管は樹の角を穴あけしないこと、管を曲げないこと。
予定建物の用途は(一戸建て住宅)とする。
開発区域において構造物が無い前には境界線等の開発標識にて区境界の表示とする。
区域内からの汚水は合併処理浄化槽から宅内最終樹を経由し一次放流先へ放流する。
本管上での取付間隔は1m以上確保すること。

注) 開発許可により完了した公共施設を完了広告日から高松市が一体開発と判断する見なし年数内においては利用しない。

凡 例	
	面積 区画番号 計画高
	流水方向
	土被り0.6m以下、 コンクリート保護 泥だめ15cm
	集水樹から VUφ150 1%以上
	1号マンホール T-14 重圧管φ250 重圧管φ300
	L型側溝
	最終樹φ350から VUφ150 i=1%以上 土被り0.6m以下、 コンクリート保護 泥だめ15cm
	給水管HVPφ20 量水器
	水道管仕切弁

縮 尺 S=1:250